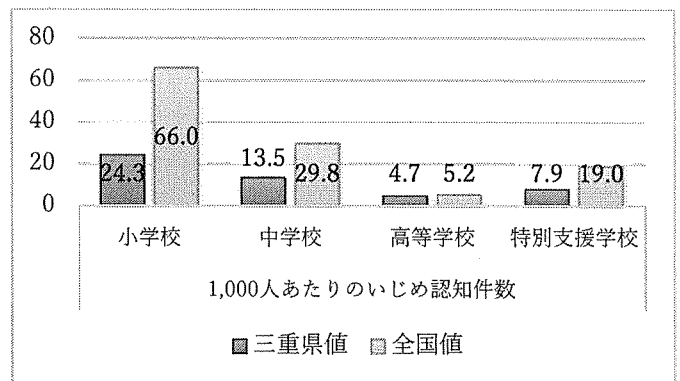


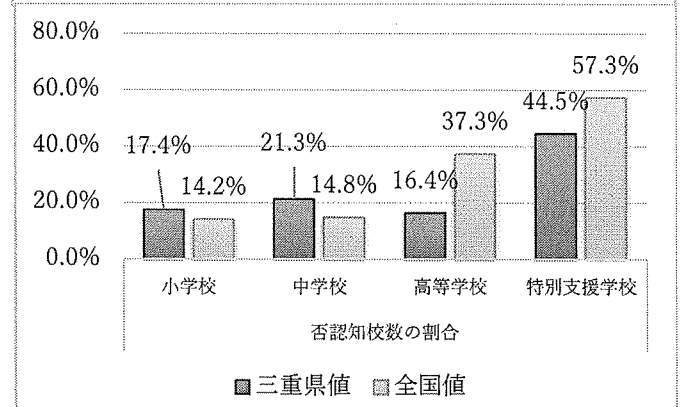
1. 1,000人あたりのいじめ認知件数について

三重県と全国を比較すると、小学校で41.7件、中学校で16.3件、高等学校で0.5件、特別支援学校で11.1件の差があり、この差は大きな差であると考えています。本県でも小学校での認知件数は平成29年度より増加しましたが、引き続き、学校組織としての認知を進めていく必要があると考えています。



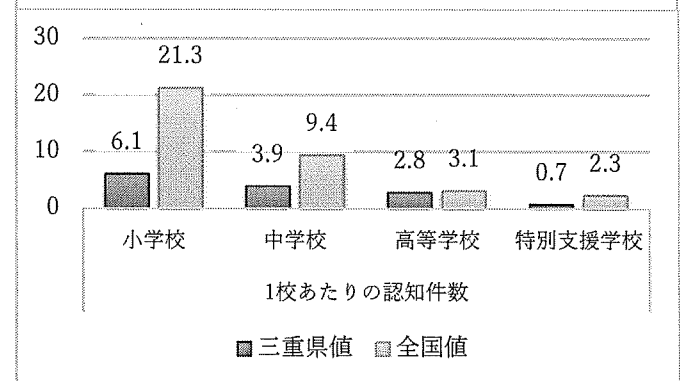
2. いじめを認知していない学校について

三重県と全国を比較すると、高等学校、特別支援学校では全国を下回っていますが、小学校で3.2ポイント、中学校で6.5ポイントの差があり、改めて、いじめはどの学校、どの子どもにでも起こりうるという理解のもと、いじめの定義に沿って正確かつ積極的な認知の必要性について周知する必要があると考えています。



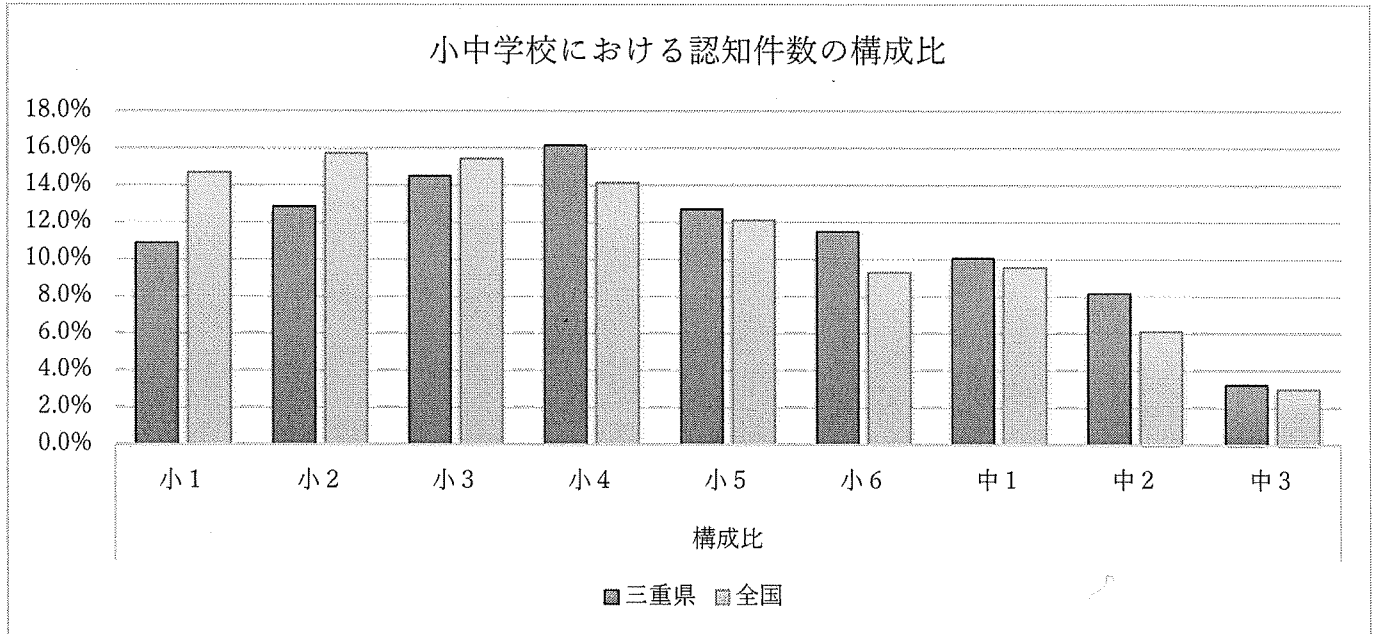
3. いじめの1校あたりの認知件数について

三重県と全国を比較すると、小学校で15.2件、中学校で5.5件、高等学校で0.3件、特別支援学校で1.6件の差があり、この差は各校におけるいじめの基準が、法の定義にあっていない可能性が考えられます。改めて、法の定義に合わせたいじめの認知を周知しなければならないと考えています。



4. いじめの学年別認知件数の構成比について

三重県と全国を比較すると、小学生低学年の認知の割合が、依然として低いことがわかります。改めて、小学校低学年でのトラブルについても、子どもの感じる被害性に着目して、疑いの段階でも積極的に認知していく必要があると考えています。



5. いじめの発見のきっかけについて

三重県と全国を比較すると、「学級担任が発見」する割合は、全校種でかなり低い状況にあります。一方、「本人の保護者からの訴え」で発見する割合は、全校種で高い状況にあります。この状況からも、教職員が児童生徒のささいな変化も見逃さず、児童生徒の被害性に着目していじめを認知していくことがさらに求められます。

		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国
学校の教職員が発見	アンケート調査など学校の取組により発見	59.2%	56.8%	37.2%	36.0%	34.2%	50.3%	23.1%	44.6%	52.8%	53.0%
	学級担任が発見	6.0%	10.9%	4.2%	10.2%	5.3%	5.6%	7.7%	20.0%	5.6%	10.6%
	学級担任以外の教職員が発見(養護、SC等を除く)	1.5%	1.3%	4.0%	6.2%	5.9%	3.3%	0.0%	4.0%	2.3%	2.3%
学校の教職員以外からの情報により発見	本人からの訴え	12.9%	16.4%	28.1%	25.1%	32.6%	24.9%	38.5%	18.3%	17.2%	18.3%
	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	14.6%	9.7%	17.7%	13.8%	15.0%	8.9%	23.1%	7.2%	15.3%	10.4%
	児童生徒(本人を除く)からの情報	3.8%	3.0%	4.8%	5.4%	5.3%	4.4%	7.7%	3.7%	4.1%	3.5%
	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	1.6%	1.2%	2.6%	1.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	1.7%	1.3%
	その他	0.4%	0.7%	1.4%	1.6%	1.6%	1.7%	0.0%	1.3%	0.7%	0.6%

※その他には、「地域住民からの情報」「スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見」などが含まれます。